

7-5 平成9年度

7-5.1 通信制課程 教育事務のOA化について (1)

平成9年9月2日 通信制の課程 教務部 武石秀男(文責)

● 目的

本課程教育事務の中で通信レポートの提出日時および成績の記録は毎日の煩雑な業務の1つである。

特に単位認定に関わるレポート提出の有無を調査・把握するためには科目担任32人一人一人に確認して回らなくてはならず、学級担任は大変な労力を要している。科目担任も煩雑な添削の中で26クラスの学級担任に逐次、レポート提出状況を報告することは大変な負担にもなっている。

これらの煩雑な業務から解放されるためには、教職員各自が任意のコンピュータから必要な情報を逐次、照会・参照・変更できればよい。そのためにも、コンピュータを使った生徒成績記録データの一元管理が必要となってくる。一元管理化の結果として、学級担任の成績記録簿再記入や、成績一覧表作成時の再入力など、数多くの業務の軽減を図ることも可能となる。

● 概要

教育事務のレポート管理および成績管理のデータベース化。

1. バーコード読み取りによるレポート提出日時の記録する。

レポート表紙にバーコードを以下の方法で記録。

- ① 「科目名」「レポート回数」はレポートに直接印刷する。
- ② 生徒認識のための「登録番号」は生徒自身が提出時にタックシールで貼る。

2. 成績入力および成績統計などの成績管理

当座は限られた教科(理科)で実施。LANが拡張され次第、全教科へと拡大。

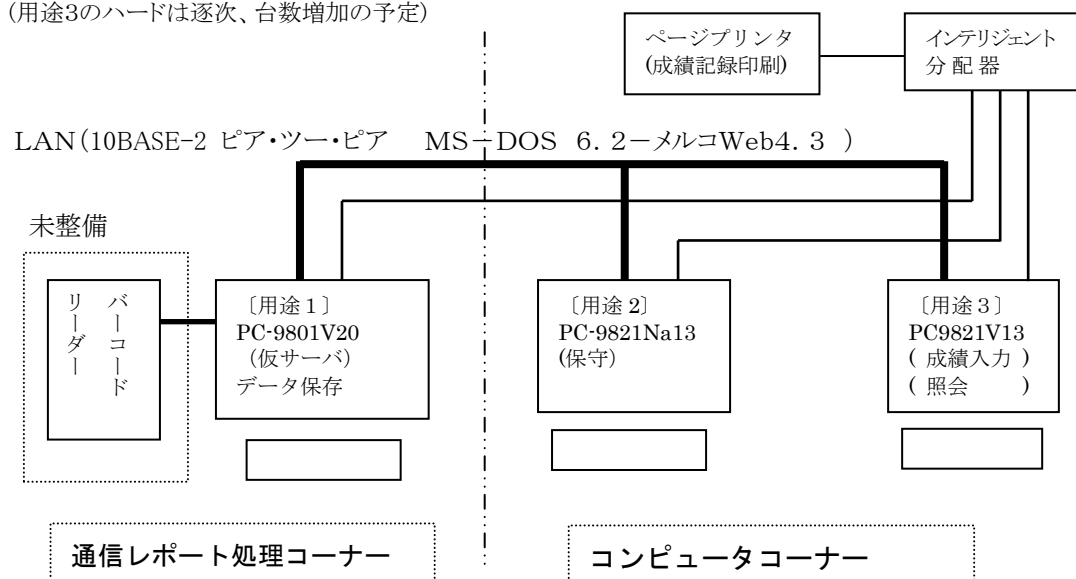
● 方針

1. 当座は、操作環境として、MS-DOSを用いる。
2. LANにより、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。
3. データベースの構築には以下のソフトを使用する。

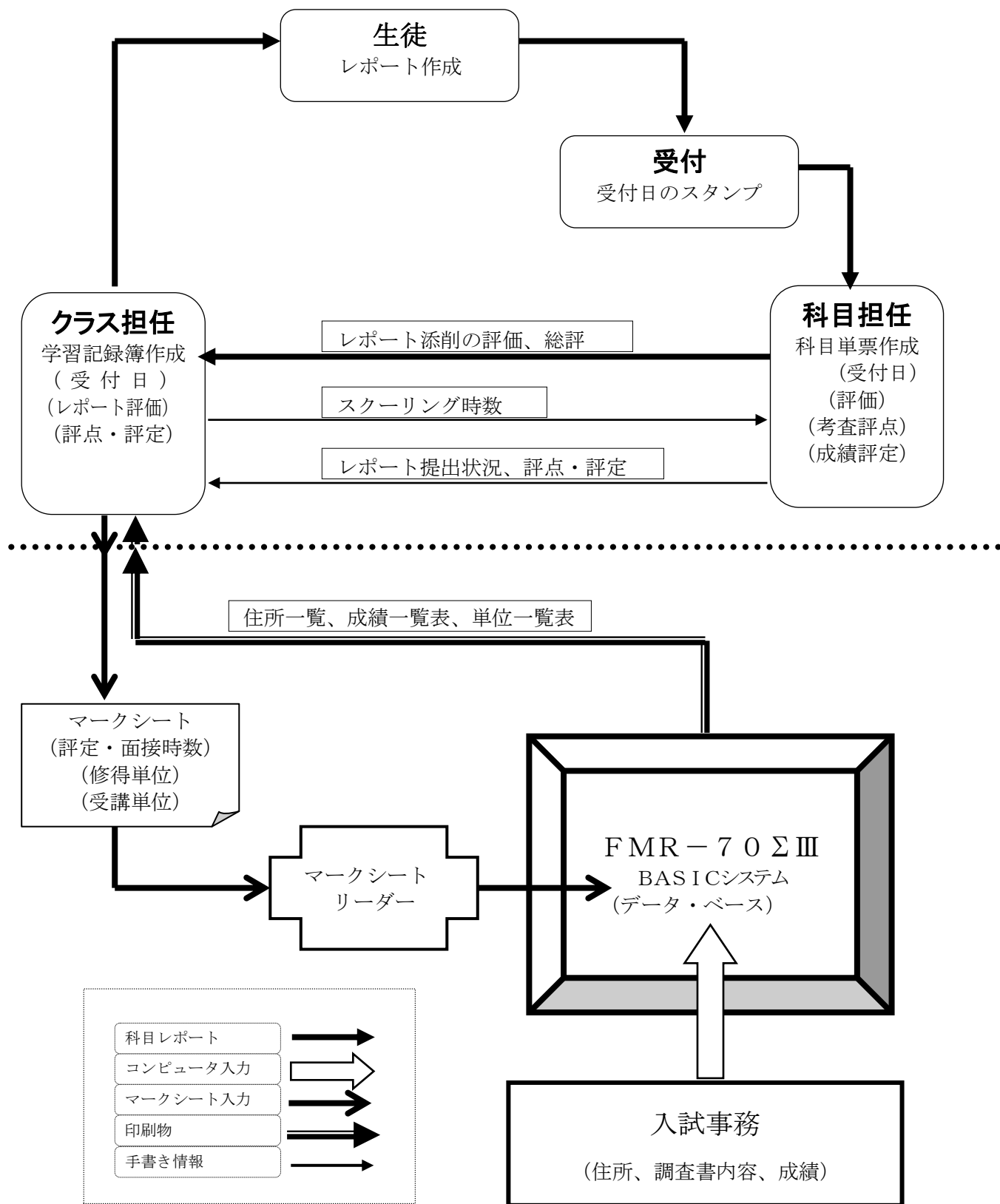
自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)

7-5.2 通信制LAN構成図

(用途3のハードは逐次、台数増加の予定)



7-6 平成9年度以前のシステム



7-4 平成10年度

7-4.1 通信制課程 教育事務のOA化について (2)

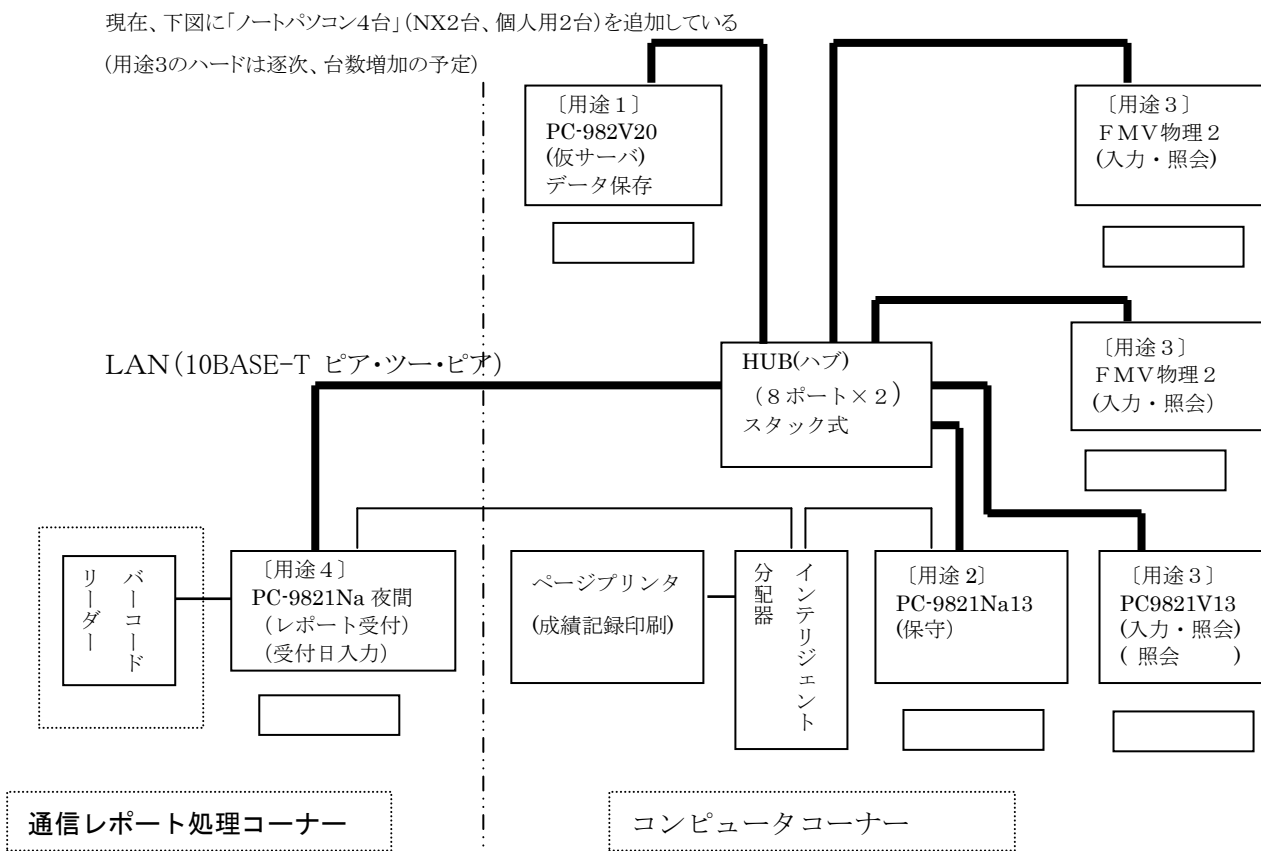
平成10年12月10日 通信制の課程 教務部 武石秀男(文責)

- 目的
 - (1)に同じ。
- 概要

教育事務のレポート管理および成績管理のデータベース化.

 1. バーコード読み取りによるレポート提出日時を記録する。
 - (1)に同じ。
 2. 成績入力および成績統計などの成績管理
 - レポート評価は各科目担任が各自入力。
- 方針
 1. LANにより、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。
 2. 操作環境として、WINDOWSを用いる。
 - 95 → 98 (→ NT)
 3. データベースの構築には以下のソフトを使用する。
 - 自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)
 - ポーランド社の「CBuilder3」と「桐」Version7

7-4.2 通信制LAN構成図



7-3 平成11年度

7-3.1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について

平成11年8月27日 OA委員会 通信制課程担当 武石秀男(文責)

● 目的

通信制課程の成績処理管理事務の中で通信レポートの提出受付日および成績の記録は毎日の煩雑な業務の1つである。

とくに単位認定に関わるレポート提出の有無を調査・把握するためには科目担任32人ひとり一人に確認して回らなくてはならず、学級担任は大変な労力を要している。

科目担任も煩雑な添削の中で28クラスの学級担任に、レポート提出状況を逐次報告することは大変な負担にもなっている。

これらの煩雑な業務から解放されるためには、教職員各自が任意のコンピュータから必要な情報を、逐次照会・参照・変更できればよい。そのためにも、コンピュータを使った生徒成績記録データの一元管理が必要となってくる。一元管理化の結果として、学級担任の成績記録簿再記入や、成績一覧表作成時の再入力など、数多くの業務の軽減を図ることも可能となる。

● 概要

教育情報のデータベース化.

(1) 生徒情報(住所、前籍校記録など)

(2) 生徒活動記録(成績評価、スクーリング記録)

① バーコード読み取りによるレポート提出受付日の記録.

レポート表紙にバーコードを以下の方法で記録.

- ・ レポート作成時に「科目名」と「レポート回数」をバーコード化したものを表紙部に印刷。
- ・ 生徒「登録番号」をバーコード化したものタックシールに印刷し、生徒に配布する。
(生徒がレポート提出時にレポート表紙に貼る)

② 科目成績評価の記録

科目担任が評価を入力(クラス担任は確認、照会のみ)。

④ クラス担任が各スクーリング後に面接時数を入力。

● 方針

1. LAN(Local Area Network)により、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。

2. 操作環境として、OS(Operating System)に Windows98 を用いる。

Windows98 から Windows NT へ移行の予定(データベースの機密性・安全性向上のため)。

3. データベースの構築には以下のソフトを使用する。

自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)。

現在は、ボーランド社製の「CBuilder3」を「主」、桐 Version7.2 を「従」としているが、将来は、桐のようなデータベースソフトを「主」としていく方針。

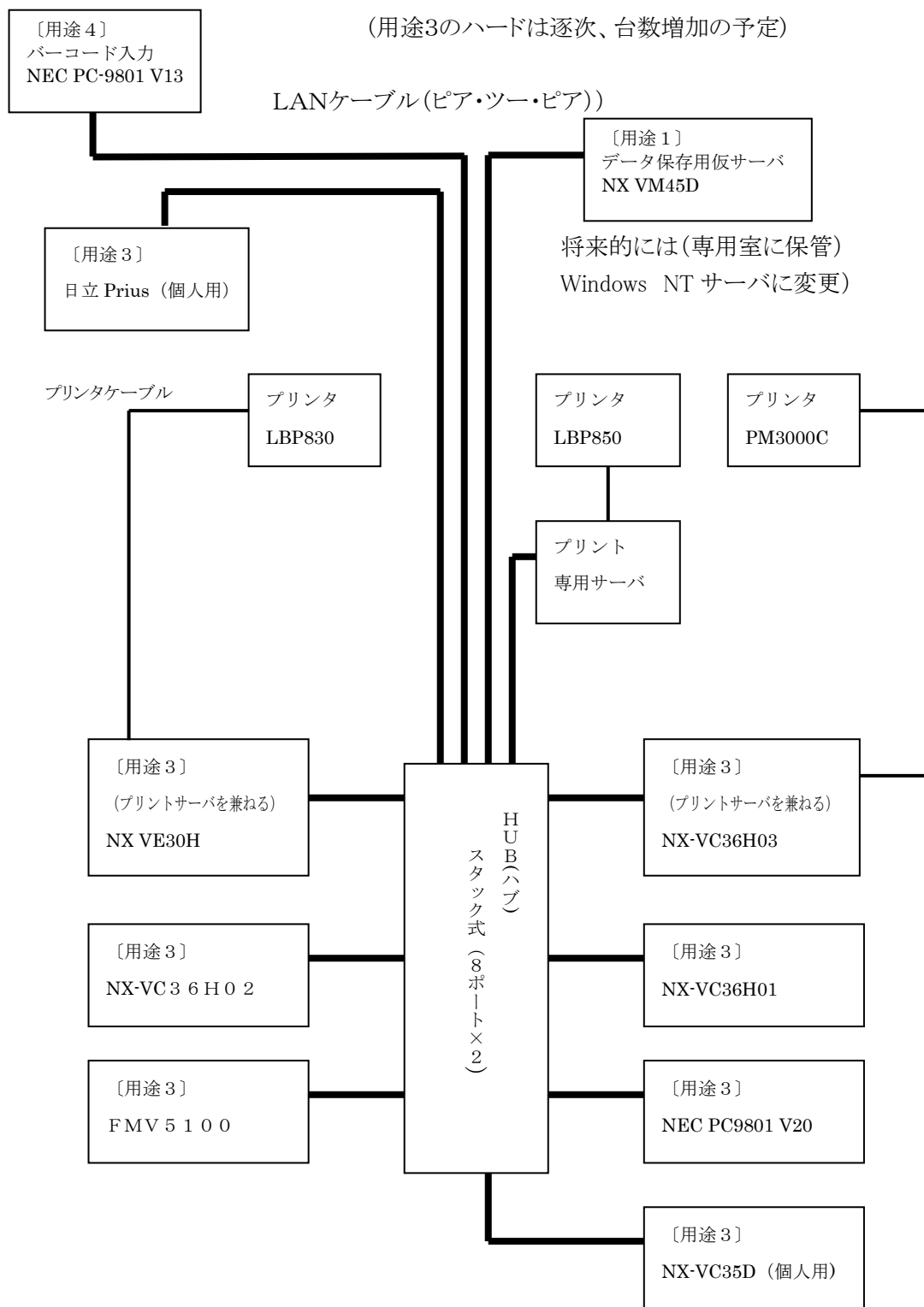
● 展望

1. 「職員間メール」により「共通配布物」を最小限にする。

2. インターネットの活用により、「学校紹介」のウェブページ(ホームページ)開設。

(生徒個人の成績照会ページあり)

7-3.2 通信制LAN構成図



7-2 平成12年度

7-2.1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について

- 目的

前年度と同じ。

- 概要

前年度と同じ。

- 方針

前年度と同じ。

- システム変更

4. OS

Windows 98 から Windows NT 4.0 に変更。

データの安全性やセキュリティが強化されたが、管理に高度なスキルが必要となった。

5. 開発ソフト

ボーランド社製の「Cbuilder 3」から「Cbuilder 5」へとバージョンアップ。
桐を「バージョン7.2」から「バージョン8」へバージョンアップ。

安定性は以前より増したようだが、立ち上がりなど遅くなり、非常に重くなった。

6. サーバ室の正式設置

職員室にむき出しになっていたサーバ機を「資料庫」に設置。

13年度から「情報システム」部として校務分掌化されたために、12年度末から13年度にかけて、資料庫を改装して正式なサーバ室にする。また、4人の部員が担当するために、新たに3台の開発用マシンを設置する。

7. 無線LAN設置

通信制職員室の天井に、3つの発光器(東側・中央・西側)を、また机の島ごとに10個の受光器を設置する。

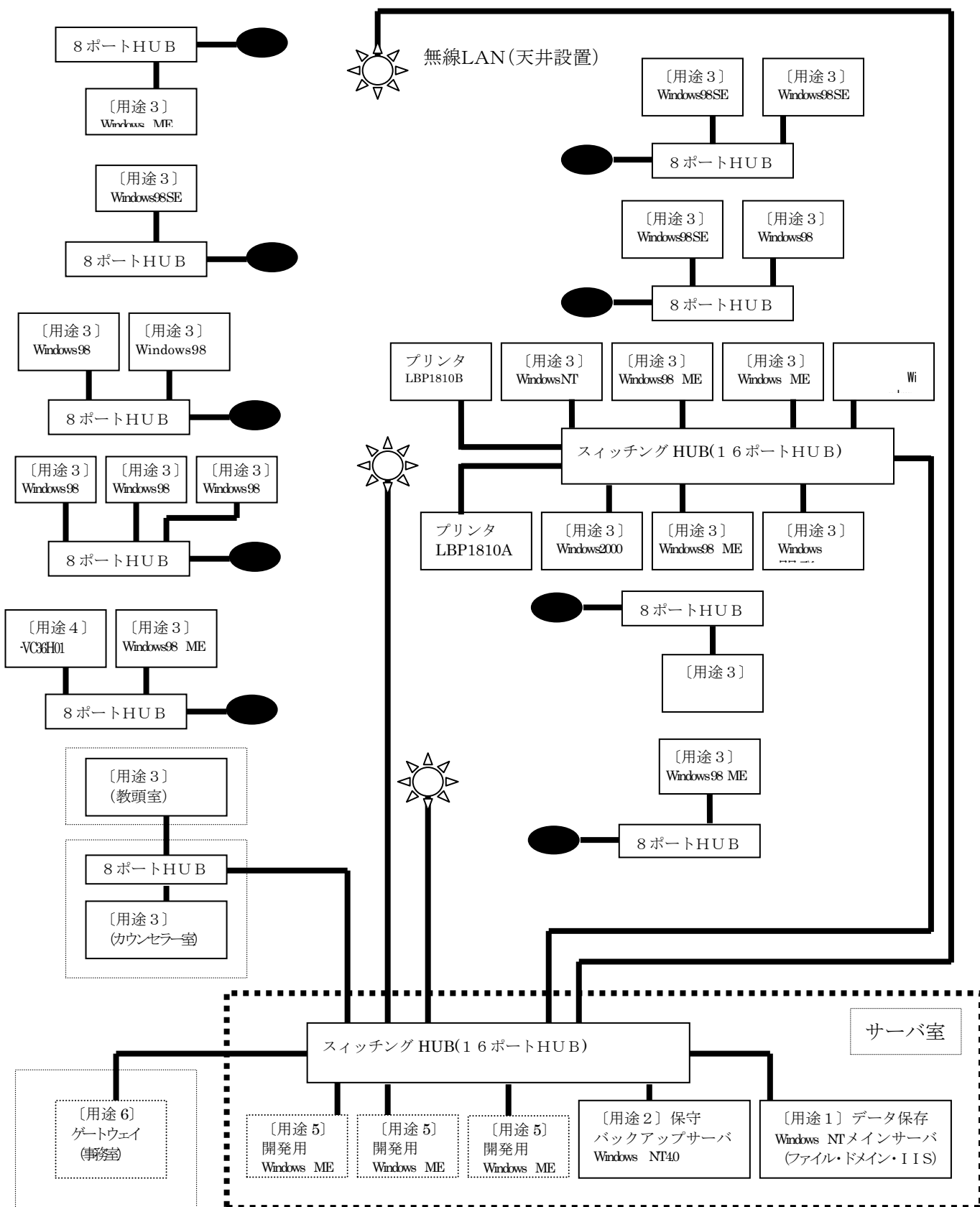
LANケーブルの引き回しは楽になったが、100BASEから10BASE-Tへとシフトダウンしたために全体的に重くなった。

8. インターネット接続

通信制ドメインから事務室ゲートウェイを通じてインターネットへ接続可能となる。
「教育ネットひむか」に本校Webページをアップロードする。

今後は、インターネット関係のヘビーな業務が急増すると思われる。

7-2.2 通信制LAN構成図



7 通信制OA化と概要

7-1 平成13年度

7-1.1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について

- 目的
前年度に同じ。
- 概要
前年度に同じ。
- 方針
前年度に同じ。
- システム変更
 1. OS
サーバを Windows NT 4.0 から Windows 2000 に変更。
データの安全性やセキュリティが強化されたが、管理に高度なスキルが必要になる。
ドメイン名「SSS_HMH」(School Student System__Miyazaki Higashi High)
(学校・生徒・システム__宮崎東・高校の略称)
OU名「tushin」「yakan」「tyukan」「jimu」「jyouhou」で管理する予定であったが、延期。
 2. 配線
赤外線無線 LAN によるトラブルが多発したので有線に変更
 3. 事務・定時と通信制が別々にCクラスIPアドレスを使っていたのを一元化する。
 - Cクラスのスーパークラス化 (またはBクラスのサブネット化)
255. 255. 254. 0 (サブネットマスク) 変更
11111111. 11111111. 11111110. 00000000
192. 168. 001. ××× (事務・定時) 従来通り
192. 168. 000. ××× (通信制) (30)を(00)に変更
 - 通信制課程のIP区分 (サブネット化)
10000000 (サブネットマスク)
192. 168. 0. 001~015 (サーバ関連、開発マシン) サーバ室
0000××××
016~031 (分室クライアント) 教頭室・カウンセラー
0001××××
032~063 (共有クライアント) コンピュータコーナー
001×××××
064~127 (職員室個人優先) 個人机上
01××××××
 - IPアドレスの変更
192.168.030.001 → 192.168.000.001 (Server、DNS・DHCP サーバ)
192.168.030.015 → 192.168.000.015 (ゲートウェイ：事務室ルータ)
192.168.030.201 → 192.168.000.011 (プリントサーバ PS-PM3000C)
192.168.030.202 → 192.168.000.012 (プリントサーバ PS-LBP1810A)
192.168.030.203 → 192.168.000.013 (プリントサーバ PS-LBP1810B)
192.168.030.204 → 192.168.000.014 (プリントサーバ PS-LBP850)

7-1.2 通信制LAN構成図

IPアドレス(192.168.000. x x x) 030→000(2002年2月23日より変更)

